

令和4年度 後期学校評価アンケート結果のご報告

後期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回もアンケート実施と同時に、児童と教職員にもアンケートを実施しました。それらの結果を報告させていただきます。

Microsoft Forms を使いご回答いただきました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。
今後も学校教育へのご協力をよろしくお願ひいたします。

1. 「確かな学力」の育成に向けて 『学力向上プラン』

重点目標 学ぼうとする意欲や学びを友だちと共有する力を身につけさせ、学力向上につなげる。

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ① 授業は分かりやすいですか。 **児童97.9% 保護者89.7% 教職員88.3%**
- ② 授業中、進んで発表していますか。 **児童72.5% 保護者89.7% 教職員88.2%**
- ③ 学習ノートを見やすく書いていますか。 **児童87.5% 保護者79.1% 教職員76.4%**
- ④ 学習ノートに、「めあて」に沿った「振り返り」を書いていますか。
児童90.1% 保護者77.5% 教職員88.2%
- ⑤ 自分から進んで家庭学習をしていますか。 **児童72.7% 保護者57.4% 教職員64.7%**
- ⑥ 読書の習慣が身についていますか。 **児童78.7% 保護者52.9% 教職員94.1%**

分析（成果と課題）

②については、保護者のポイントが前回と比べて、約24ポイント上がりました。これは、参観日に子どもたちが自分の考えや思いを発表している姿を見ていただくことができるようになったことが挙げられます。また、日々の授業で自分の考えや思いを発表できる機会を意図的に設ける授業づくりを進めてきたことや、1年を通して、学級が安心して発表できるようになってきたこと等が考えられます。③については、タブレット端末を使った学習を進め、ノートだけでなくタブレット端末にも書き込むことが増えたことと関係しているのではないかと考えています。⑥については前期と同じように児童と保護者の間に15ポイントの差があります。児童は学習の空き時間等によく読書をしていますが、家庭では読書をしている姿があまり見かけられないということかと思います。一方で教職員のポイントは大幅に上がりました。これは、全ての学級で学校図書館を活用した授業を行ったことや、全ての学年で図書館司書と連携した並行読書に取り組んだことが表れていると思います。

分析を踏まえた取組の改善

「自分のことばで伝え、考える視点を増やす力」を育てるために、タブレット端末を活用した主体的な学習の取組を進めてきました。その成果として、自分の考えをわかりやすく伝えることができるようになってきました。紙のノートに書くことについては、学習のどの場面で、どのように使うのかを工夫したり、書く意図を明確に示したりすることで、書く力を伸ばしていきたいと考えています。

家庭での読書を促すためには、図書館だよりで家庭での読書の意義を伝えたり、学校独自のおすすめ本を紹介したりしていきます。いつでも開いている学校図書館の活用を今後も進めていきたいと考えています。今後も子どもたちが読書への意欲を高められるような働きかけを続けていきますので、ご協力お願いします。

（裏面もあります）

2. 「豊かな心」の育成に向けて

重点目標 規範意識の育成や道徳教育の充実を図り、支え合い高め合う集団をつくる。

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ① 自分からあいさつができますか。児童94.0% 保護者71.5% 教職員88.2%
- ② 相手を思いやり、親切にすることができますか。児童94.9% 保護者96.5% 教職員100%
- ③ 周りの人から大切にされていますか。児童94.9% 保護者97% 教職員100.0%
- ④ ものを大切にしていますか。児童94.2% 保護者73.8% 教職員64.7%
- ⑤ 学校のきまりや社会のルールを守っていますか。児童95.9% 保護者98.5% 教職員88.2%

分析（成果と課題）

①のあいさつについては、地域・保護者が挨拶の声かけを続けてきたことに加えて、学校でも代表委員会の児童によるあいさつ運動や動画でのアピールなど、子どもたち同士による声かけがあいさつすることを促したと考えます。②と③については、前期に引き続きとても高いポイントでした。おうちの方から愛され、友だち同士の関係も良好な様子がうかがえます。

④のものを大切にすることについては、まだ落とし物が多く、誰のものか呼びかけても所有者が見つからないことがしばしばあります。引き続き、持ち物に必ず名前を書き、大切にすることを呼び掛けていきます。

分析を踏まえた取組の改善

あいさつをすることで、周りの人たちと気持ちのよい関係を築くことができるだけでなく、防犯にもつながることを伝えて、あいさつの大切さを子どもたちに指導しています。教師も、子どもたちに対してだけでなく、地域の方や保護者の方など来校者に進んであいさつをしていきます。「ものを大切にする」については、引き続き、学校や家庭で使う大切な物だという意識を持たせるために、記名を呼びかけたり、整理整頓ができる環境を整えたりしていきます。

3. 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動やスポーツの実践と体力の向上、健康的な生活を送る子を育成する。

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ① 睡眠時間は8時間以上とれていますか。児童88.6% 保護者93.2% 教職員82.4%
- ② 毎日朝ごはんを食べていますか。児童96.1% 保護者98.9% 教職員88.2%
- ③ 外遊びやスポーツなどで、体を動かしていますか。児童91.3% 保護者76.4% 教職員88.2%
- ④ テレビを観たり、ゲームをしたりする時間を決めていますか。
児童78.7% 保護者61.6% 教職員58.8%
- ⑤ 安全に登校できますか。児童97.4% 保護者96.9% 教職員94.1%
- ⑥ 安全に下校できますか。児童96.7% 保護者93.5% 教職員76.5%

分析（成果と課題）

④については、児童も保護者も前回よりも下がっています。今一度、ご家庭で話し合ってルールの確認をしていただきたいと思います。⑥については、通学路でないところを通ったり、道に広がりながら歩いたりするなど安全面で気にかかるところがあります。

分析を踏まえた取組の改善

④については、体や心の健康のために時間を決めることが大切なことを指導する中で、ゲームをしたりテレビを観たりする時間も計画的に行なうことを指導していきます。⑥については、具体的に下校時の安全について、交通ルールを守り、安全に道を歩くことを指導していきます。また、安全の日の教職員の下校指導を行うなど工夫していきます。ご家庭でも交通ルールを守り安全に下校することを子どもたちへお声かけください。